

島根県大田市で

一緒に**アスパラガス栽培**を始めませんか？

大田市はこんなところです！



島根県のほぼ中央に位置する大田市。ここでは、三瓶山(国立公園)の豊かな自然と、世界遺産(石見銀山遺跡)をはじめとした歴史ある町並みが広がっています。

大田市のアスパラガス栽培の特徴

大田市では、全国的にも珍しい“高畝疎植栽培法”という栽培方法を採用しています。

また、生産者の多くが、過去5年以内に新規に栽培を開始された方々です。

このため、現在、生産者・関係機関が一体となって技術確立に努めており、県下No.1の産地を目指して和気あいあいと活動しています。



平畝栽培(一般的)

毎日がんで収穫するのは大変・・・



高畝疎植栽培

立ったまま収穫ができるのが嬉しい！
毎日来たくなるハウスです。

大田市は新規就農者を応援します！



就農を決める前に、まずはじっくり相談。また、実際に大田に来て、この地の雰囲気を感じてください。



最長1年間の農業体験を通じて、本当に農業ができるかどうか、大田で暮らしていけるかどうかを考えましょう。

講義+現地実習により、就農後に必要となる知識・技術を身につけます。

〈講義〉

農林大学校での受講
or リモート受講

〈現地実習〉

大田の生産者ほ場にて、マンツーマンの実技指導



応援団！石見銀山アスパラガス生産組合



私たちは、生産組合の目標である“1億円産地の達成”を目指して、切磋琢磨しながらアスパラガス栽培に取り組んでいます。

また、共に頑張る仲間づくりにも力を入れており、情熱のある方には、就農相談から就農後のサポートに至るまで、全力で応援していきます！

先輩農家ヘインタビュー

アスパラガス生産組合は、栽培歴15年以上のベテラン農家さんと、直近5年以内に栽培を開始された若手農家さんの両方で構成されています。

それぞれの農家さんに、アスパラガス栽培にかける思いや、就農された感想を聞いてみました！



岩崎 勝男さん（アスパラガス生産組合長、栽培17年目）

アスパラガス栽培を始めて今年で17年目、生産組合長は通算約10年務めています。

私が栽培を開始した当初は、周りでアスパラガスを作っている人はほとんどいないような状況でしたが、組合長になり、JA・県担当者と一緒に活動をするようになったことで、一緒に頑張る仲間も増え、今では生産者同士が互いに切磋琢磨しながら、和気あいあいと活動できるようになりました。

向上心と協調性があり、明るく元気な方であれば、どなたでも仲間になり、楽しく活動ができると思います。ぜひ大田市で、一緒にアスパラガスを作りましょう！



岩田 有美さん（栽培5年目）

広島県から、地元の大田市にUターンした後に「半農半X事業」を活用して就農しました。

アスパラガスは、大田市が力を入れている品目ですし、選果場があり、収穫後の手間が省ける点が魅力的だと思います。

就農当初は分からないことだらけでしたが、今では自分で色々と考えながら栽培できるようになり、楽しみが増えました。

農業はしんどいと言われることもありますが、本気で向き合っていれば、しんどさよりも、楽しさ、面白さを感じる時間の方が、はるかに長いです。

これまでの経験や、蓄積してきた知識・技術は全てお伝えしますので、ぜひ一緒にアスパラガスを作りましょう！



石原 秀範さん（栽培3年目）

もともとは水稲栽培を行っていたのですが、収益を向上させたいとの思いから、園芸品目の中でも支援の手厚いアスパラガスを栽培するに至りました。

アスパラガス栽培については、私自身も素人でしたが、アスパラガス生産組合が行う研修会に積極的に参加することで、栽培技術を身につけていきました。

大田市は、アスパラガスの産地化に向けて走り始めたばかりの地域ですが、このスタートラインと一緒に立たせてもらえることが、一番の魅力だと感じます。

栽培開始当初から、生産者の皆さんや、JA・県担当者の協力もあり、楽しく活動できています。ぜひ一緒に頑張りましょう！



周藤 憲寛さん（栽培3年目）

農業を始めてからは10年以上になります。当初は産直野菜中心の経営をしていたのですが、ほ場整備の実施に併せて、大規模栽培が可能なアスパラガスへ経営転換しました。

これまで様々な野菜を栽培してきたのですが、アスパラガスが一番経営的に安定する品目だと感じています。

現在は法人化し、家族3人で70.5aを管理していますが、将来的には、自動収穫ロボットを導入し、さらなる規模拡大を目指す予定です。

この地でともに頑張る仲間となり、楽しく活動できる方であれば、どなたでも大歓迎です。ぜひ一緒にアスパラガスを作りましょう！



堀 寛史さん（栽培2年目）

もともと農業には興味があったため、JAリースハウスの活用が可能なこの機会に、思い切って脱サラし、アスパラガス栽培を始めよう！と決心し、R3年に就農を開始しました。

アスパラガスを選んだ理由は、単品目で生計が成り立つこと、他品目に比べて技術力が問われないと感じたことにあります。

実際に栽培を始めてみると、想像以上に大変だと感じる部分もあり、「全ては自分次第。良くも悪くも自分に返ってくる。」ということを日々痛感しています。それでも「農業を始めてよかった！」と思えることの方が多いのが、この仕事の魅力ですね。ぜひ一緒に頑張りましょう！

R4年3月～新選果場稼働開始！



JAが責任を持って、選果作業～出荷・販売までを担うため、安心して栽培に専念することができます！

アスパラガス栽培のスタートプラン

経営面積	ハウス30a(新設)
売上所得 (経営開始5年後)	約 1,000万円 約 230万円
初期設備投資額 (補助事業等の活用により、金額が下がる可能性あり)	約 3,100万円 (ハウス資材、高畝資材、灌水設備等)
年間総労働時間	2,100時間(1人)

※令和4年6月現在の試算であり、資材等の価格変動により変動の可能性があります。
※就農5年目のモデルであり、所得を保障するものではありません。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目		ほ場準備		育苗	定植	株養成						刈り取り
2年目以降		ほ場準備	収穫								刈り取り	

求める人物像

- ・大田市に移住し、就農を目指す概ね18歳～50歳までの方
- ・本気で就農を目指し、家族などの周りの方の理解・協力を得られる方
- ・収入を得られるまでの生活費とは別に、300万円程度の自己資金を持っている方
- ・生産組合に加入し、組合員と協力できる協調性のある方

移住・就農支援

研修・就農補助金

産業体験(3ヶ月～1年)、就農後(最大3年)に必要な経費を助成する制度があります。

- ・Uターンしまね産業体験事業
-体験助成 12万/月 最大1年間
- ・経営開始資金
-就農後 150万/年 最大3年間

農地

研修中や雇用先で働きながら、地域の空き農地(就農候補地)を探します。

空き農地の確保にあたっては、地域の関係機関で構成するサポートチームで支援します。

施設・機械

新規就農に必要な農機具・施設等の初期投資を補助する支援制度があります。
また、タイミング次第でハウスを借りられることもあります。

- ・新規就農者整備支援事業等
-施設整備等費用の1/3助成

住居

空き屋バンク登録物件の紹介、移住後の住宅確保をサポートします。改修費などの支援制度があります。

- ・空き家改修費の1/2以内を助成(上限 50万円)

子育て支援制度

- ・同時入所軽減措置
-同一世帯から2人以上の児童が同時に入所している場合、保育を年齢の高い順から
1人目……基準額
2人目……基準額の1/2
3人目以降…無料

周辺環境

【教育】

- ・小学校数16、中学校数6
- ・市内に総合病院あり

【アクセス】

- ・広島市街まで車で150分
- ・出雲縁結び空港まで60分
- ・萩・石見空港まで車で90分